



# こやの里たり

(第5号)

令和5年7月3日(月)

兵庫県立こやの里特別支援学校  
校長 石川勝己

## 高等部で学ぶこと

高等部長 紙田 正美

今年度は59名という多くの1年生を迎え、高等部の生徒数は150人となりました。高等部は朝の課題学習の時間に週3回(火、水、木)、高等部全体で隣の住友グラウンドにてランニングを行っています。準備の整った生徒から順次学校を出発し、学年ごとの準備体操の後、個々の体力に応じてランニングに取り組みます。コロナ禍で低下した体力を少しずつ取り戻す貴重な時間となっています。

高等部では今年度の入学生からカリキュラムの変更を行いました。従来割を見直し、どの生徒にも特設自立活動の時間や理科、社会、英語の授業、SST(ソーシャルスキルトレーニング)や道徳、進路学習の時間を確保することで、現代の多様な社会的ニーズに対応する形となりました。また、これを機に在校生の授業についても一部見直しを行っています。

高等部3年間を終えると、ほとんどの生徒は社会に出ていきます。数年前より、職業や進路学習の一環として、本校の卒業生を迎えて、実際に進路先での話や在校生へのアドバイスをもらう機会を設けています。その場で卒業生の皆さんは、異口同音に「挨拶」や「人とのコミュニケーション」の重要性を語ってくれます。生徒だけでなく、教師側も改めて教えられることがたくさんあります。また、事業所からの販売活動で本校に来てくれる卒業生もいます。丁寧に商品を扱い、手渡してくれたり、きちんと挨拶ができたりと、数年でたくましくなった生徒の顔が見られるのはとてもうれしいことです。

高等部の教育目標は「仲間とともに、楽しく豊かに自己実現できる生徒」です。たくさんの仲間と過ごす中で、時には思い通りにはいかないことや嫌なこともあるでしょう。しかし、そこで相手の立場に立って考えてみたり、解決策を考えたりすることで成長できることもあると思います。失敗を繰り返しながらも成長していく。そんな生徒たちを保護者の方々と一緒に見守りつつも、共に成長していければと思います。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

## 訪問教育

訪問教育担当 田家 深夏

今年度こやの里特別支援学校の訪問教育で学んでいる児童生徒は小学部1名、中学部1名の2名が在籍しています。24時間医療的ケアを必要とするため学校へ通学しての学習は困難なので、教師が家庭に出向き授業を行っています。

『生活のリズムを整え、健やかに生活できる力をつける』『強く明るく生きる意欲、気力を高める力をつける』を目標として、教科・特別活動・自立活動など学校で学んでいる児童生徒と同様、実態に合わせて学習内容を設定しています。また、通学している児童生徒と同じ課題に取り組んだり、体調と相談しながらスクーリングや学校行事へ参加したりして、たくさんの経験を積み重ねています。苦手な学習もありますが「友達も同じように学習しているよ!」「楽しくなるよ!」など励ましの言葉がけをしながら取り組んでいます。友達と一緒に学習している時間は、やる気に満ち溢れた表情で学習に取り組んでいます。今年度は2名とも最高学年なので、それぞれの学部で修学旅行に参加する予定です。昨年度に引き続き友達と触れ合う機会を多く設定し、豊かに生活できる力が高められればと思います。

1年間よろしくお願いいたします。

夏季休業中の学校への連絡は、朝8:30~17:00にお願いします。

072-777-6300 (土日祝、学校閉庁日 8/14、15は除く)